Okinawa Prefectural College of Nursing

かせかけ No.28

沖縄県立看護大学広報誌
2016（平成28）年6月30日

キャンパス内の植物

CONTENTS

○平成28年度入学式★ようこそ看護大学へ !! …… 2
　・新入生の声
○新入生宿泊オリエンテーション …… 3
○のぞいてみよう看護大学 …… 4
　・基礎看護：生活援助・療養援助技術
○渡嘉敷島研修 …… 5
○国際交流 …… 6
　・カウアイ・コミュニティ・カレッジ学生研修受け入れ
○地域貢献だより …… 7
　・平成 27 年度大学コンソーシアム沖縄
　県民向け公開講座
　・看護大学実習受け入れ住民ボランティアの声
　・宮古島実習生の声
○平成27年度卒業式・修了式 …… 8
○平成28年度の主な大学行事 …… 8

平成28年度入学式

ようこそ看護大学へ!!

新入生の声

沖縄の海と離島実習に心惹かれて

1年次　武藤 真子

私は海のない岐阜県からやってきました！その環境で育ったからか、海がある環境にとても憧れていました。そのような理由から、この大学の離島実習に心惹かれて入学を決意しました。また、看護師だけではなく、保健師、そして４年次のコース選択で助産師の受験資格を得られることも魅力でした。

ここに入学してからは新しいことだらけ。渡嘉敷島研修では離島へ行き、青く透き通った海にまず感動。建物はシーサーに守られていて、沖縄をたくさん感じました。

しかし、こんなに大学を満喫している私も、初めは不安と寂しさで一杯でした。ホームシックで一晩泣いたこともあります。だからこそ応援してくれる家族の温かさ、友達がいてくれる幸せを身に染みて感じることができました。

受験生の皆さん、不安に思うことがたくさんあると思いますが、信じて前に進めばきっと幸せに導かれます。ちなみに、私が導かれたこの沖縄県立看護大学はとても幸せな場所です♪

同じ夢を持つ友人との大学生活

1年次　仲本 仁香

入学することが夢だった県立看護大学に入学してから、１か月が過ぎました。最初のうちは、「友達は出来るだろうか」「授業はどれくらい難しいのだろう」と不安でいっぱいでしたが、優しい友達と励ましあいながら日々勉強に励んでいます。入学してからすぐにたくさんの行事がありました。新入生歓迎球技大会や青少年の家での宿泊オリエンテーション、渡嘉敷島研修など先輩や同級生と触れ合ういい機会になり、すぐに打ち解けることが出来ました。看護はとても厳しい職業ですが、同じ夢を持つ仲間たちと一緒に支えあいながら切磋琢磨し、良い将来につなげていきたいと考えています。

新入生宿泊オリエンテーション

楽しく有意義だった新入生宿泊オリエンテーション

1年次　新垣 凛太朗

4月 22 日、23 日に糸満青少年の家で新入生宿泊オリエンテーションが行われました。

研修内容は、金城学生部長、渡久山先生の講話や防犯講習会、カレーライス作りなどを通して学生間、学生教員間の仲を深めるものになっており、いままでどこか緊張していた雰囲気も解れて、楽しく有意義な時間を過ごせました。また、夜間に行われた親睦会では先輩方と色々な話で盛り上がり、沖縄県立看護大学男子の結束力がより一層強くなりました。

今回の研修で得たことを日々の大学生活に活かし、密度濃い時間を過ごしていきたいと思います。この研修の運営やサポートにお力添えいただいた先輩方や先生方、本当にありがとうございました。また来年、新入生を加えての宿泊オリエンテーションが楽しみです。

笑いと涙の中で芽生えた絆を大事に頑張ります!!

別科助産専攻　金城 江里奈

去る 4 月に行われた新入生宿泊オリエンテーションのメインイベントの一つ、野外炊飯ではクラス全員一致団結してカレー作りに挑戦しました。お腹もいっぱいになった後、笑いと涙の中で「助産師を志した理由や自分の目指す助産師像」について熱く語り合いました。また、クラスメイトの強みだと思うストレングスカードを 3 つ選び他己紹介をするコーナーでは、予想外のコメントに驚くと同時に自分が頑張っていることを認められている感じがして嬉しくなりました。2 日間で得た学びや仲間との絆を大切にしながら、「自分の目指す助産師」に向かってこの 1 年間一生懸命頑張っていきたいと思います。

のぞいてみよう看護大学

基礎看護

切磋琢磨の技術演習

看護学科　3年次　砂川 香月

「生活援助・療養援助技術Ⅰ～Ⅲ」では、「寝衣交換」や「食事介助」など日常生活を援助するための技術に加え「採血・注射」のような診断・治療を助ける技術についても学習します。技術をただ身につけるだけではなく、患者さんの立場から「必要な看護は何か」、「持てる力を引き出すためにはどのような働きかけがよいのか」などを常に考えながら演習に臨んでいます。また、安全・安楽に技術を実施するための方法について、熱気あふれるディスカッションを日々重ねています。時には教員から鋭くも温かい指導を受けながら、技術習得に向って切磋琢磨しています。

渡嘉敷島研修

学生、教員間の仲が深まった渡嘉敷島研修

3年次　盛本　優也

平成 28 日 5 月 7 日から 5 月 8 日までの二日間、学生 155 名、教員 3 名で渡嘉敷村での渡嘉敷島研修に参加しました。

「学生間、学生と教員間の交流」「身の周りの自然について考える機会にする」など研修の目的に沿い、トカシクビーチでの海洋研修や学生や教員が協力してカレー作り、バーベキュー、レクなど、学生同士、また学生と教員が交流を通して親睦を深めていけるイベントを行いました。学生は普段、講義以外では話す機会の少ない教員とレクをしたり、プライベートな話をしたり、親睦を深めることができました。また、渡嘉敷島の海などの自然にふれ、離島の自然や私たちの身の周りの自然について考えることができました。今回の研修を通して、学生間、学生と教員が親交を深め、今後の学生生活におけるより良い学びの環境形成に役立てることができたと感じています。

国際交流

カウアイ・コミュニティ・カレッジ(5/17-5/24) 研修受け入れ

カウアイ・コミュニティ・カレッジ学生研修受け入れ

国際交流室運営委員会　長堀　智香子

平成28年5月17日から5月24日まで、米国ハワイ州カウアイ・コミュニティ・カレッジとカピオラニ・コミュニティ・カレッジの学生9名と引率教員3名が来学し、研修プログラムに参加しました。

本学では2001年から、ハワイ大学との国際交流協定に基づく交流事業を行っており、毎年、本学からの学生を受け入れて頂いています。ハワイからの学生受け入れは2009年から始め、今回が4回目となりました。

研修プログラムは「沖縄の看護の歴史」や「日本の高齢者ケアシステムと沖縄における現状」の講義、医療施設の視察、本学学生との交流、旧海軍司令部壕、ひめゆりの塔や平和祈念資料館などへの慰霊の訪問、ホームステイなどを行いました。短い期間ではありましたが、異文化理解や相互交流を深めるよい機会となりました。

ホームステイを迎え入れて

ホストファミリー・2年次　山里　梨恵

5 月 21、22 日にハワイからきた KCC の学生を家に 1 泊 2 日で招待しました。ホームステイを受け入れた理由は単純に国際交流をしたかったからです。Katherine と過ごして 1 番印象に残ったことは、私の親が準備してくれた沖縄料理（いなむるち、沖縄そば、ソーキ、ゴーヤチャンプルー、たあむ（田芋））を全部おいしいと食べてくれたことです。別れの時に楽しかったと言ってくれた時はとても嬉しかったです。親や友達の協力、この企画を考案した大学のおかげで貴重な体験ができ、素敵な友達にも出会うことができました。ありがとうございました。

地域貢献だより

コミュニケーションを豊かにする「かぎ」を発見!!

地域保健看護教授　川崎　道子

平成 28 年 2 月 14 日、県立博物館・美術館に於いて渡久山朝裕准教授による県民向けの公開講座「心のつまずきを成長へと導くもの」が開催されました。始めに、心のつまずき事例の紹介があり、引き続き心の特徴や心の成長をもたらす「かぎ」となるものなどについての説明が行われました。その後の演習では参加者同士が援助的コミュニケーションの基本的技法を体験していました。

参加者からは、相手の「話を傾聴し受容する」・「話のポイントを復唱する」・「考えや気持ちを支持する」という基本的なコミュニケーションを心がけることで豊かな人間関係を築くことができることに気づかされた等の感想が寄せられました。バレンタインの日に相応しいテーマとなりました。

“みゃーくの会”の方々に支えられて

第 14 期卒業生　村吉　翔平

私は4年次の実習を宮古島で行いました。初めての離島実習のため不安と緊張で一杯でしたが、“みゃーくの会” のボランティアの方々に送迎や民泊、食事会など心温まる歓迎や支援を受け、充実した実習を行うことができました。みゃーくの会の方々から島の特性、歴史、方言などを説明してもらったおかげで対象者の生活に合わせた看護の重要性を再認識することができ、学びを深めることができました。支えてくださった皆様に感謝しつつ、学んだことを活かしながら、立派な看護師になれるよう努力していきたいです。

看護大学実習受け入れボランティアみゃーくの会

老年保健看護准教授　田場　由紀

ボランティアメンバーの與那覇氏（70代）は「学生の受け入れに不安はありました。でも島尻さんや盛島さんの助けでできることをしているよ。看護学生との関わりは励みになり、楽しみでもあり、家族も応援しています。」と笑顔で話していました。みゃーくの会の皆様、未来の看護職を温かく迎え、見守っていただき、タンディガァ―タンディ（ありがとうございます。）

平成27年度

卒業式・修了式

去る3月15日、平成27年度沖縄県立看護大学の「看護学部卒業式」ならびに「別科助産専攻修了式」、「大学院修了式」が執り行われました。

多くの保護者やご来賓の方々、教職員から祝福と励ましを受け、看護学部78名、別科助産専攻20名、大学院9名の卒業・修了生が、それぞれの夢に向かって思い出いっぱいの学舎を巣立っていきました。自分の決めた道を信じて、いざ出発!!

● オープンキャンパス・大学入試説明会 2016

日時：平成 28 年 7 月 23 日（土）　午前 10 時より午後 3 時

台風時の予備日：平成 28 年 7 月 30 日（土）

● 第 18 回看大祭

日時：平成 28 年 9 月 10 日（土）～11 日（日）

詳しくは
大学ホームページを
ご覧下さい。

● 平成28年度の主な大学行事（平成28年4月～平成29年3月）

4 月 4 日（月）入学式
4 月 7 日（木）前期授業開始
5 月15日（日）開学記念日
7 月23日（土）オープンキャンパス
8 月14日（日）～9月1日（木）ハワイ研修
9 月10日（土）～11日（日）第18回看大祭
9 月17日（土）大学院入試
10月 3 日（月）後期授業開始
11月19日（土）特別選抜入試（看護学科）
推薦選抜・社会人特別選抜入試（別科助産専攻）
1 月14日（土）～15日（日）大学入試センター試験
2 月 8 日（水）一般選抜入試（別科助産専攻）
2 月25日（土）一般選抜入試（前期・看護学科）
3 月12日（日）一般選抜入試（後期・看護学科）
3 月15日（水）卒業式・修了式

「かせかけ」とは

かせかけとは、琉球古典舞踊七踊りの一つです。綛（かせ）とは紡いだ糸を巻く道具で、綛掛けとは布を織る糸をこしらえている様子を指しています。沖縄県立看護大学は、国際的視野に立つ看護職者の育成をめざしています。この踊りのように丹念に糸を紡ぎ布を織って縞麗な着物に仕立てていく、その一途の心と地道にして洗練された「技術」・「感性」・「情熱」そして優しさは、「知識」の継承・創出とともに、本学の看護職者を生み育む教育・研究の原点に相通ずるものであろうと、広報誌の名称にしました。

琉球古典舞踊「かせかけ」に用いる道具

沖縄県立看護大学

〒902-8513　沖縄県那覇市与儀1丁目24番1号
TEL（098）833-8800（代表）　FAX（098）833-5133
http://www.okinawa-nurs.ac.jp

編集　沖縄県立看護大学／大学広報委員会
発行　2016（平成28年）年6月30日

沖縄県立看護大学　検索